

第4号
児童数 328名
(男188名女140)



のぶっ子

Tel :0299-66-2076
Fax:0299-66-4692
E-mail:nobukata-el@itako.ed.jp
URL:https://www.itako-sch.ool.jp/nobukata-el/

〒311-2442
潮来市小泉2090

みんなが主役・みんなが学ぶ学校

あいことば: あいあい大作戦 スローガン: やさしく かしく たくましく



市教育委員会から先生方をお招きして、訪問指導がありました。ICT を活用したり、楽しい活動を取り入れたりして一生懸命に学習に取り組むことができました。

鹿島アントラーズから「しかお」くんが来校し、朝のあいさつ運動をしてくださいました。元気なあいさつとともに、ハイタッチやグータッチ、ハグしてもらうなど、交流を深めました。

休み時間を使って体力テスト昇級チャレンジを行いました。暑い中でしたが、少しでも記録を伸ばそうと、真剣に取り組む様子が見られました。



2・5年生が、行方警察署より講師の先生をお招きして、メディア教育を行いました。身近なスマホやインターネットに潜む危険を、具体例を交えて教えていただきました。児童達は熱心に耳を傾けていました。

児童委員会が、学校をよりよくするためにあいさつ運動を行いました。色とりどりのレインボーレンジャーが登場し、あいさつを呼びかけていました。校舎内に元気な声が響き渡っていました。

7月28日に行われる「延方相撲」に向けての稽古が始まりました。今年度は、30名近い5,6年生が参加します。およそ350年続く伝統行事の担い手として、精一杯取り組んでほしいと思います。応援よろしくをお願いします。

「どこでもドア」は、「ドラえもののひみつ道具」です。「あなたが1番ほしいドラえもののひみつ道具は何ですか？」というアンケートでは、いつも1、2位を争っているそうです。

さて、コロナ禍を経て、学校で急速に整備されたものの一つにタブレットがあります。教室や自宅から世界中の情報が手に入るという点では、タブレットは「どこでもドア」に近いといえるかもしれません。しかしこのタブレット、「ふたつよいことさてないものよ」ということばの通り、良いことばかりではありません。青少年がネットいじめや犯罪に巻き込まれるなどの報道が後を絶ちません。現代社会は、スマホやタブレットが「どこでもドア」となり、闇社会にも簡単につながってしまうようになっていることを、我々大人は認識しなくてはなりません。

そこで、夏休みを前にして、保護者の皆様には、タブレットの使用場所（リビングなど大人の目の届くところ）や使用時間について、家庭でのルールについて、今一度確認をしていただければ幸いです。楽しい夏休みで思わぬ落とし穴に落ちないように、よろしく願いいたします。

ところで、小学館のてんとう虫コミックス「ドラえもん」で、「どこでもドア」が初登場するのは、第6巻「のび太漂流記」です。「ロビンソン漂流記」にあこがれたのび太が、自分ひとりの力で無人島に渡って冒険するお話です。ドラえもんは、のび太が気づかないようにサポートしますが、のび太からドラえもんや秘密道具に頼ることはありません。最後の最後に、のび太のピンチを救うために、お母さんが「どこでもドア」が登場します。人間の成長のためには、「人や道具に頼ってばかりではだめだ。」という教訓を含んでいるように感じます。

